EPSON

PMARFU1
自動巻き取りユニット

取扱説明書

ー本書は、本機の近くに置いてご活用くださいー

目次

4013646-00
xxx

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています、内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解のうえで本文をお読みください。

	この記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、製品は水に濡れることの禁止を示しています。

⚠警告

分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

⚠注意

巻き取り紙管は正しく、しっかり固定してください。
落下により、けがをするおそれがあります。

巻き取り動作中は、巻き取りユニットに触れないでください。
手や髪の毛などが巻き込まれて、けがをするおそれがあります。

取り付けは、本製品に添付のネジを必ずお使いください。
添付以外のネジを使うときちんと固定されない場合があり、落下により、けがをするおそれがあります。

●本文中のマーク、表示について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

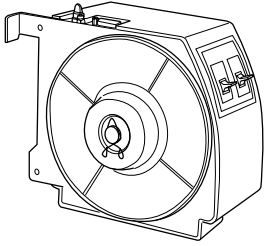
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい（操作）を示しています。

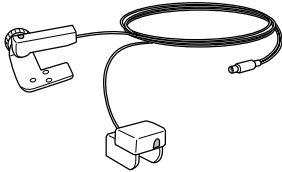
補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

●梱包内容の確認

梱包箱を開けたら、以下の部品がそろっていること、損傷していないことを確認してください。

□駆動ユニット

□可動ユニット

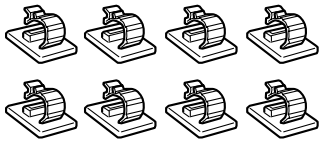
□駆動ユニット固定用ネジ（M4 × 2 本）

□可動ユニット用ストッパ金具

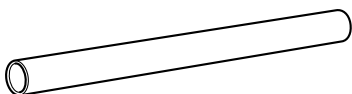
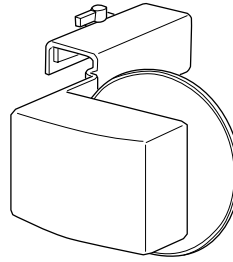
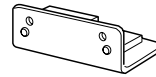
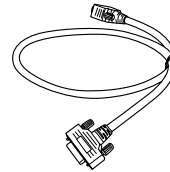
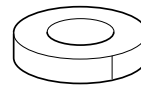
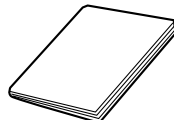
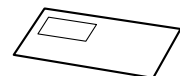
□センサユニット

□ストッパ金具固定用ネジ（M3 × 2 本）

□センサユニット固定用ネジ（M3 × 2 本）

□接続ケーブル

□ケーブル止め（8 個）

□テープ（ロール紙固定用）

□ 3 インチ巻き取り紙管

□取扱説明書（本書）

□保証書

●プリンタへの取り付け

プリンタ本体に自動巻き取りユニット本体を取り付けます。

⚠注意

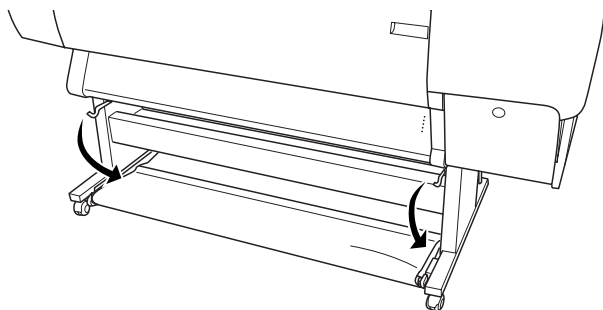
取り付けを行う前に、必ず「安全にお使いいただくために」に記載されている安全に関する注意をご確認ください。

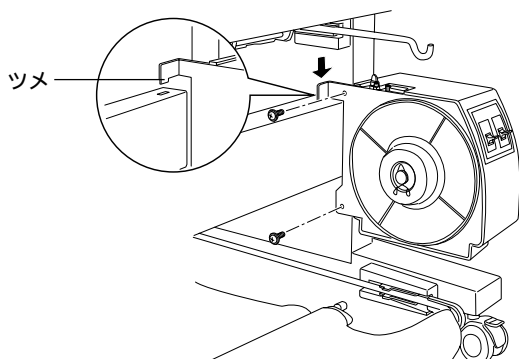
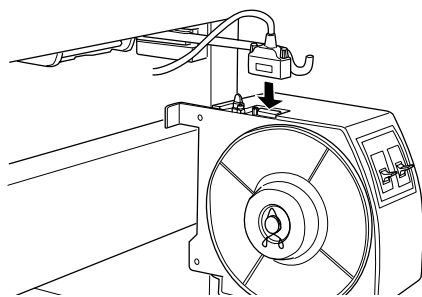
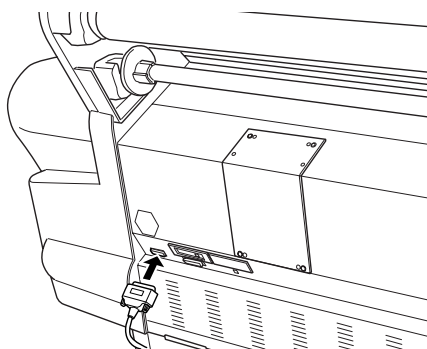
自動巻き取りユニットを取り付けても、後方排紙を行う場合は紙受け用バスケットを使用することができます。ただし、自動巻き取りユニットを使用して印刷する場合は、紙受け用バスケットを上部トレイフックから外して、畳んで脚の上に置きます。紙受け用バスケットを外さないと、ロール紙が紙受け用バスケットに接触し、正常に巻き取りができなくなります。
前方排紙を行う場合は、自動巻き取りユニットをプリンタから取り外す必要があります。

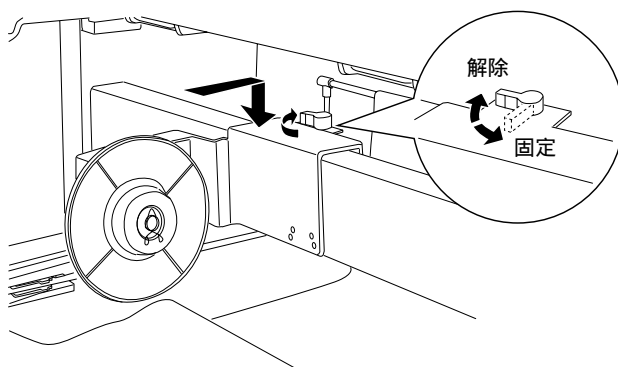
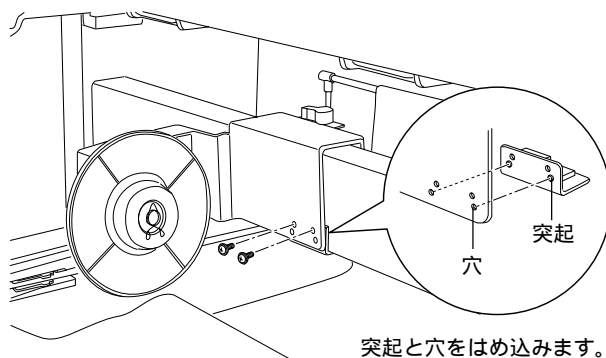
自動巻き取りユニット本体の取り付け

❶ プリンタ本体の電源をオフにします。

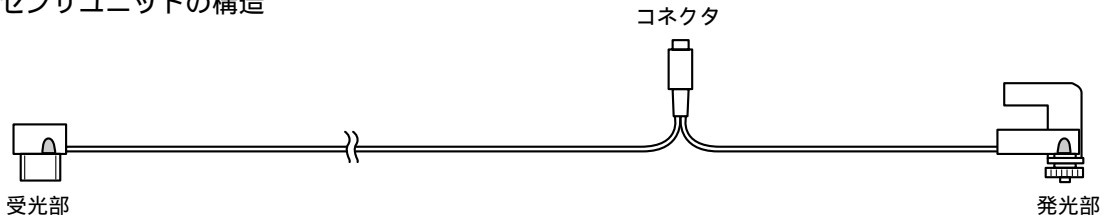
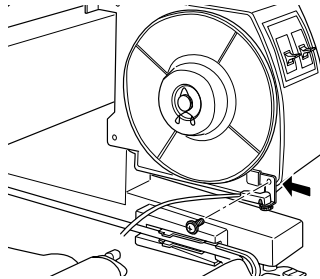
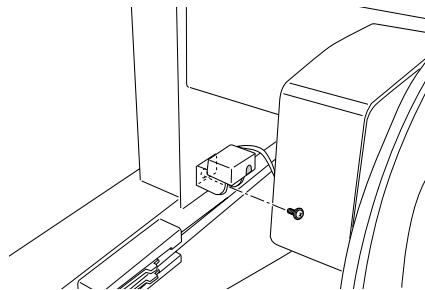
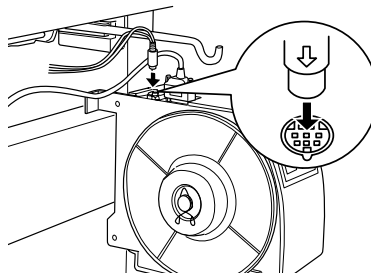
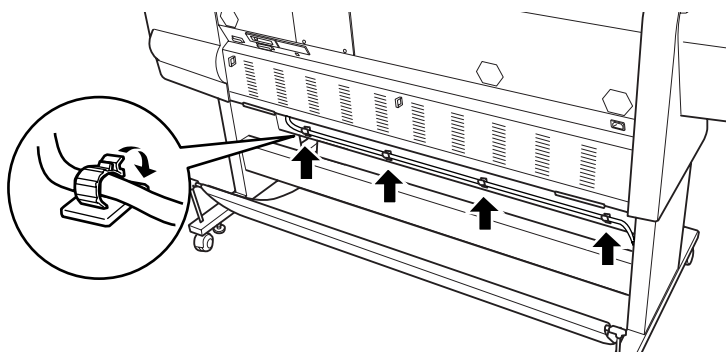
❷ 紙受け用バスケットを外します。

作業の妨げにならないように上部トレイフックより外して下に畳んで置きます。

❸ 駆動ユニットを脚部に取り付けます。

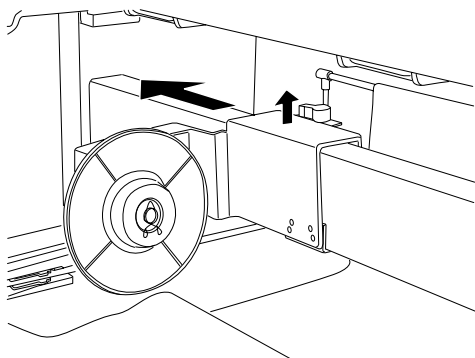
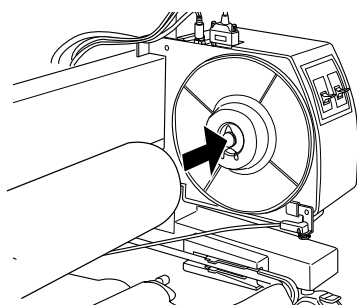
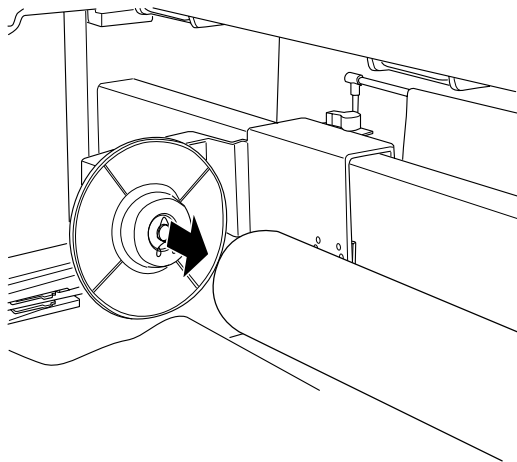
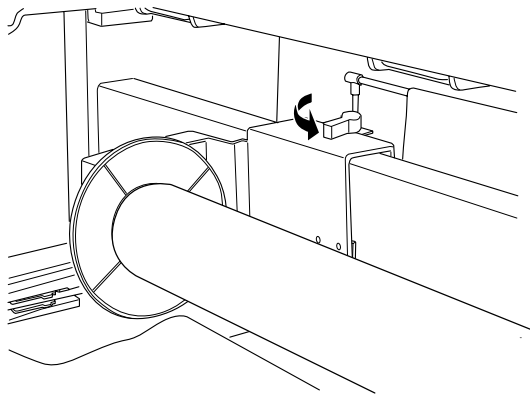
① 駆動ユニットのツメを脚部の穴に掛け、駆動ユニット固定用ネジ（太いネジ）2 本で固定します。

② 接続ケーブルのメス側コネクタを駆動ユニットに接続します。

③接続ケーブルを背面にまわしてプリンタ本体に接続します。

❹ 可動ユニットを脚部に取り付けます。

① 可動ユニットのロックを解除し、脚つなぎに掛けます。

② ストッパ金具を下からはめ込み、ストッパ金具固定用ネジ 2 本で固定します。

突起と穴をはめ込みます。

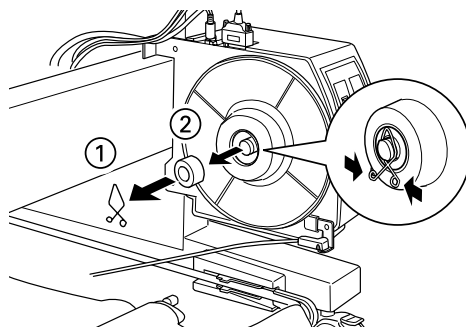
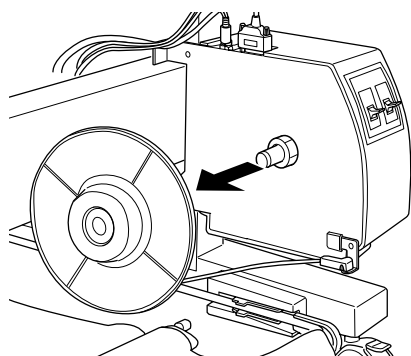
❺センサユニットを取り付けます。

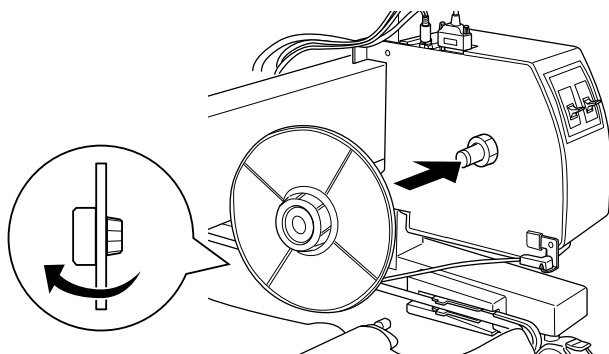
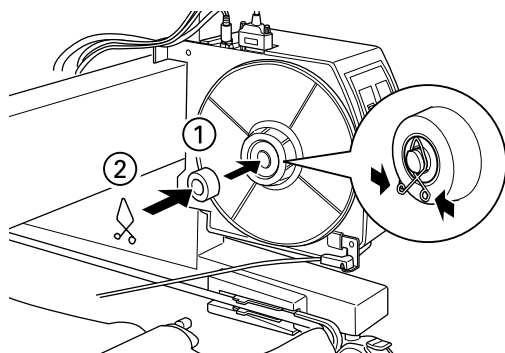
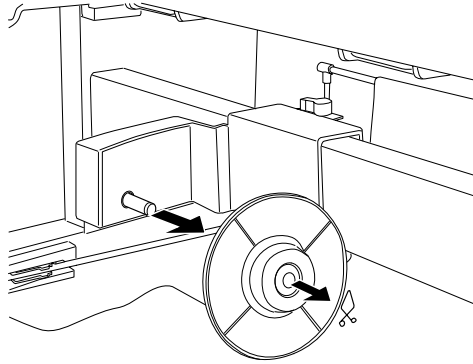
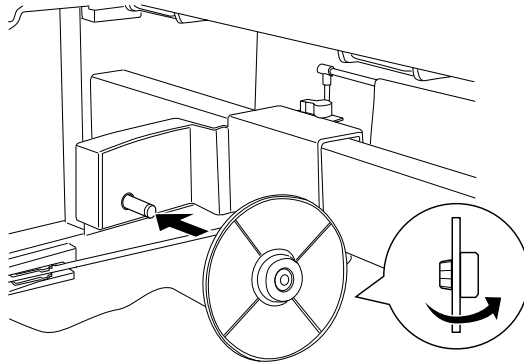
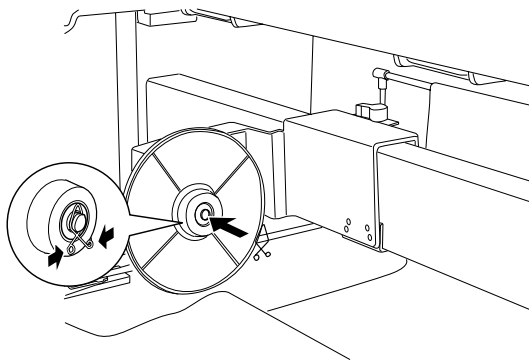
センサユニットの構造

① 発光部を駆動ユニットにセンサユニット固定用ネジ１本で固定します。

② 受光部を左脚にセンサユニット固定用ネジ１本で固定します。
受光部の突起を脚部の穴にはめ込んでからネジ止めします。

③センサユニットのコネクタを駆動ユニットに接続します。

④ ケーブルをプリンタ本体の脚つなぎに配線し、止め具で固定します。

3 インチ巻き取り紙管の取り付け

同梱の 3 インチ巻き取り紙管を取り付けます。

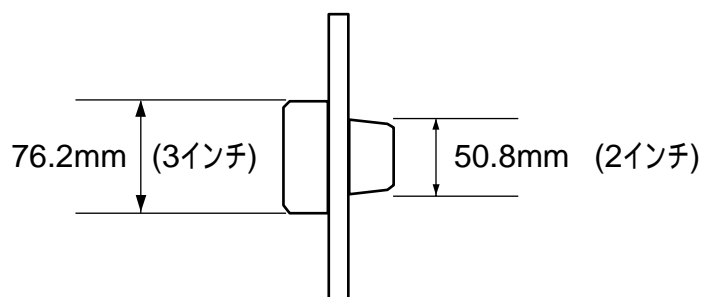
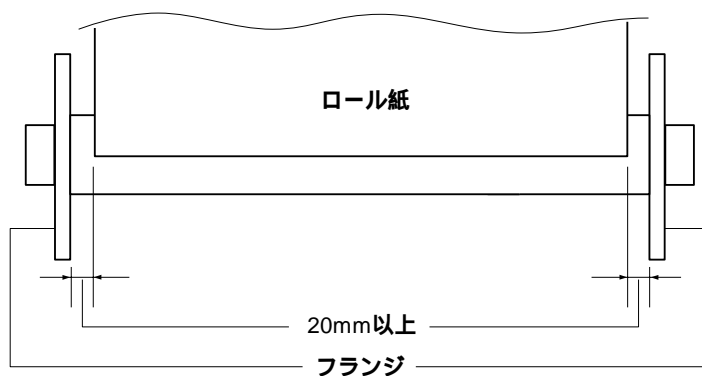
❶ 可動ユニットのロックを解除して左端に移動させます。

❷ 巻き取り紙管を駆動ユニットのフランジに差し込みます。

❸ **可動ユニット側のフランジを差し込み、巻き取り紙管の側面に合わせます。**

❹ **可動ユニットのロックを固定します。**

2 インチ巻き取り紙管の取り付け

2インチ巻き取り紙管を取り付ける場合は､駆動ユニットと可動ユニットのフランジの向きを逆にします。
2 インチ巻き取り紙管として、使用済みロール紙の紙管を使用することができます。

❶ **駆動ユニットの止め金具とキャップを外します。**

❷ フランジを取り外します。

❸ フランジの向きを逆にして、駆動ユニットに取り付けます。

❹ キャップと止め金具を取り付けます。

❺ 可動ユニットの止め金具とフランジを取り外します。

❻ フランジの向きを逆にして、可動ユニットに取り付けます。

❼ 止め金具を取り付けます。

❽ 2インチ巻き取り紙管の取り付け方法は、3インチ巻き取り紙管の場合と同じです。以降の作業は 9 ページを参照してください。

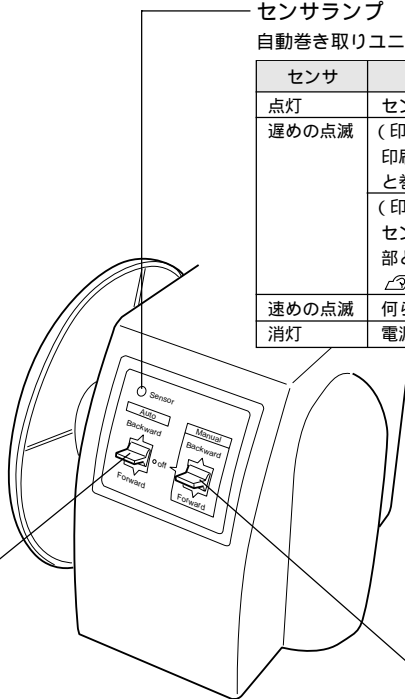
使用済みロール紙の紙管を代用する場合の注意

- 形状が変形していたり、表面に損傷部のある紙管は、巻き取り紙管として使用できません。
- フランジに紙管を取り付けたときに、紙管がぐらつかないこと、きちんと固定されていることを必ず確認してください。
- 44インチ幅のロール紙が巻かれていた紙管は、36インチ幅のロール紙の巻き取り用紙管に代用することができますが、同サイズ（44インチ幅）のロール紙の巻き取り用紙管として使うことはできません。44 インチ幅のロール紙を巻取るにはオプションの 46 インチ幅の紙管（3 インチスペア紙管 / 型番：PM90ARFSP）をお使いください。

ロール紙の紙端とフランジの間に以下の隙間（ゆとり）を確保してください。隙間が確保できない状態でロール紙を巻き取ると、正常な巻き取りができません。

●使用方法

操作パネル

センサランプ

自動巻き取りユニットの状態を示します。

センサ	状態
点灯	センサユニットの発光部と受光部の位置が合っています。
遅めの点滅	（印刷している場合） 印刷によりロール紙のたるみが発生しています。しばらくすると巻き取り動作が開始されます。
	（印刷していない場合） センサユニットの発光部と受光部の間に障害物があるか、発光部と受光部の位置が合っていない可能性があります。 ☞「困ったときは」21 ページ
速めの点滅	何らかの原因によって巻き取り動作が停止しています。
消灯	電源が入っていません。

［Manual］スイッチ

［Auto］スイッチが［off］の場合に機能します。手動でロール紙を巻き取ることができます。

Backward：Backward 側に用紙を巻き取ります。

Forward　：Forward 側に用紙を巻き取ります。

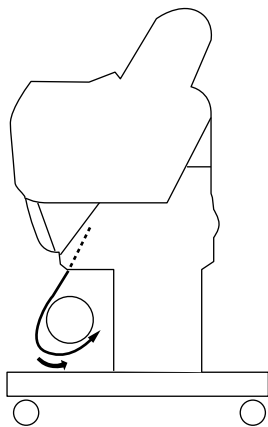
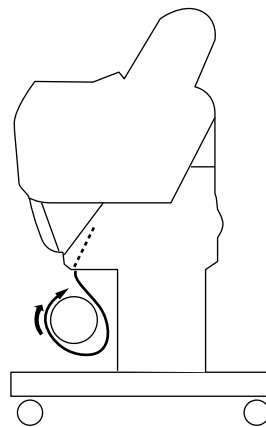
［Auto］スイッチ

センサの検知エリアにロール紙が送り出されたときに、自動でロール紙を巻き取ります。

Backward：Backward 側にロール紙を巻き取ります。

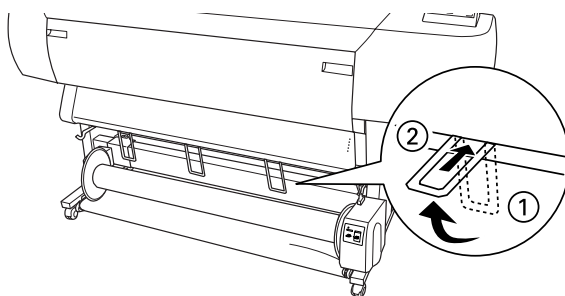
Forward　：Forward 側にロール紙を巻き取ります。

off　　　：センサの検知エリアにロール紙が送り出されてもロール紙を巻き取りません。

Forward　**印刷面を外側にして巻き取ります。**

Backward　**印刷面を内にして巻き取ります。**

ロール紙のセット

⚠警告

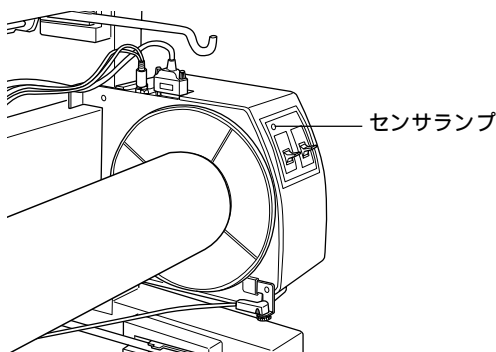
巻き取り紙管は正しく、しっかり固定してください。
落下により、けがをするおそれがあります。

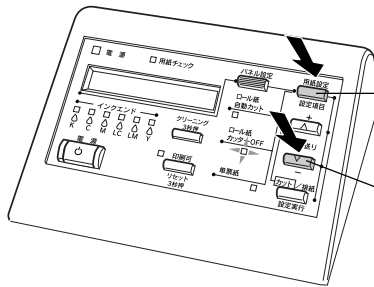
ロール紙をセットする前に、ロール紙の先端部が垂直にカットされていることを確認してください。先端部が波打っていたり、でこぼこにカットされていると、正しく巻き取れません。
また、排紙サポートが引き出されている場合は、元に戻しておいてください（3 個）。

以降の作業は、プリンタにロール紙をセットしてから行ってください。

Forwardで巻き取る場合

❶ プリンタの電源をオンにします。

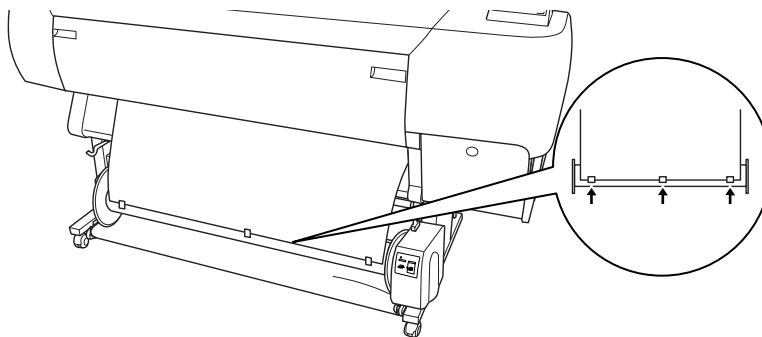
❷ センサランプが点灯していることを確認します。

点滅している場合はセンサユニットの発光部と受光部の間に障害物があるか、発光部と受光部の位置が合っていない可能性があります。
☞「困ったときは」21 ページ

❸ ロール紙を引き出します。

①プリンタの［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙カッター OFF］を選択します。
②プリンタの［▼］（用紙送り）スイッチを押して、ロール紙を紙送りします。

① ［用紙選択］スイッチを押して、［ロール紙カッター OFF］を選択します。

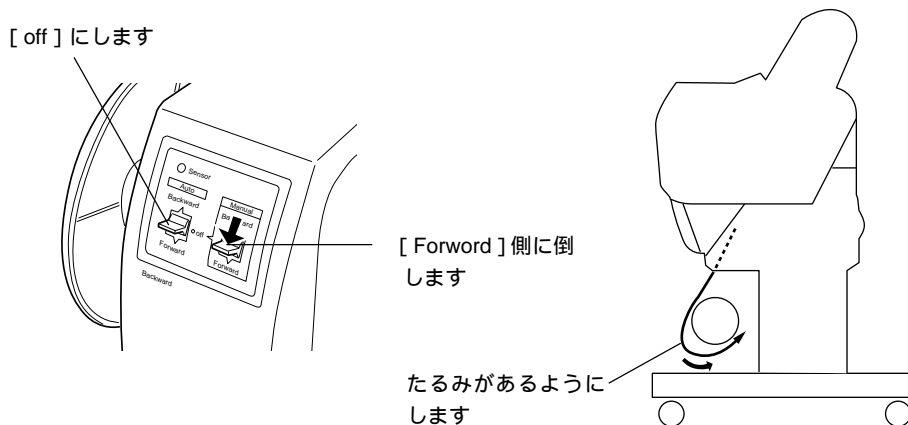
② ロール紙を紙送りします。

> **自動巻き取りユニットは［ロール紙カッター OFF］が選択されている場合のみロール紙を巻き取ります。**

❹ ロール紙の先端部を巻き取り紙管にテープで 3 箇所止めます。

❺ プリンタの［▼］（用紙送り）スイッチを押して、ロール紙をたるませます。

❻ 巻き取り紙管に一回転分以上、ロール紙を巻き取ります。

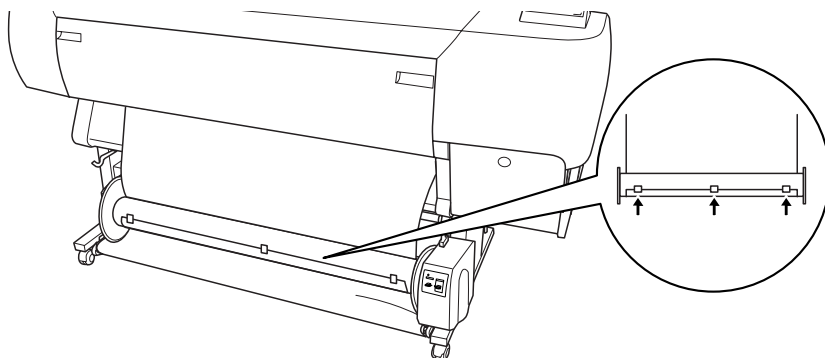
① 駆動ユニット上の操作パネルの［Auto］スイッチを［off］にします。

② ［Manual］スイッチを［Forward］側に倒して、一回転分以上ロール紙を巻き取ります。

巻き付け後に、ロール紙と巻き取り紙管の間に十分なたるみがあるようにしてください。

Backward で巻き取る場合

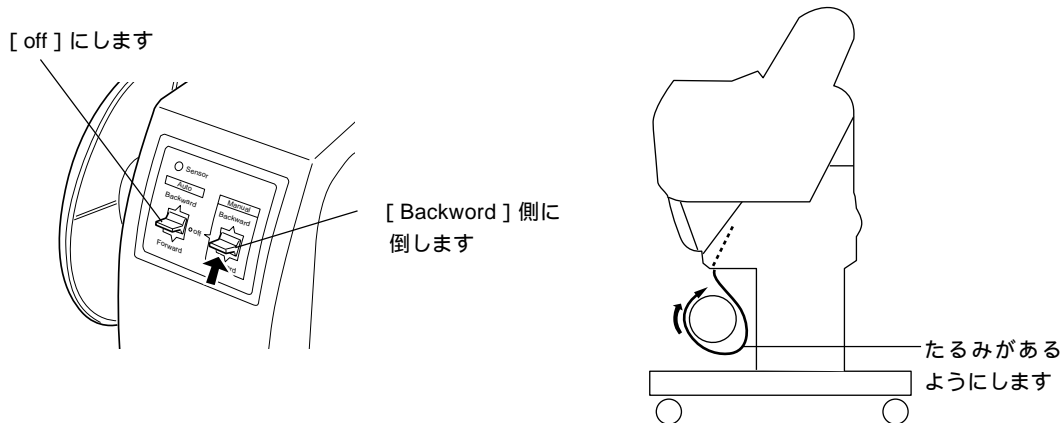
❶ ロール紙を引き出します。

99 ページ手順❶〜❸と同様にして、ロール紙を紙送りします。

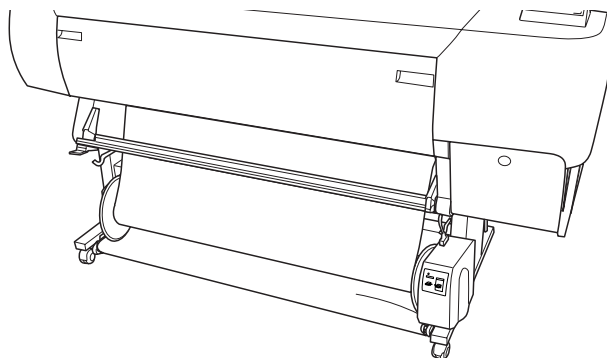
❷ ロール紙の先端部を巻き取り紙管の裏側から引き出しテープで 3 箇所止めます。

❸ プリンタの［▼］（用紙送り）スイッチを押して、ロール紙をたるませます。

❹ 巻き取り紙管に一回転分以上、ロール紙を巻き取ります。

① 駆動ユニット上の操作パネルの［Auto］スイッチを［off］にします。

②［Manual］スイッチを［Backward］側に倒して、一回転分以上ロール紙を巻き取ります。

巻き付け後に、ロール紙と巻き取り紙管の間に十分なたるみがあるようにしてください。

カッターユニットを使用する場合

オプションのカッターユニットを使用する場合は､カッターユニットの下にロール紙を通してから巻き取り紙管にセットしてください。

動作確認

セットしたロール紙が正しく巻き取られるか確認します。

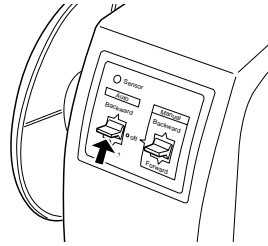
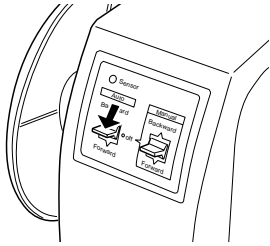
⚠ 注意
動作中は巻き取りユニットに触れないでください。 **手や髪の毛などが巻き込まれてけがをするおそれがあります。**
動作中は､センサの検知エリアに入らないでください。 **巻き取り動作が開始するため､用紙を無理に巻き取ろうとして正常な印刷ができなくなります。**

❶ プリンタ本体の［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙カッターOFF］を選択します。

> **Windowsプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバを使って印刷している場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。プリンタドライバの［自動カッター］の設定がチェックされていないことを確認します。**

❷ 巻き取り方向のスイッチを設定します。

Forwardで巻き取る場合

Backwardで巻き取る場合

❸ 印刷を実行し、正しく巻き取られていることを確認します。

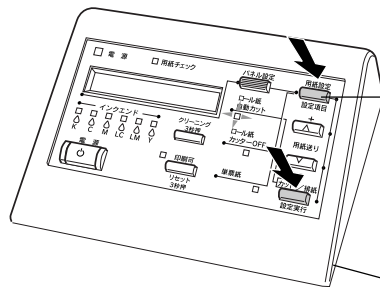
印刷されたロール紙がたるむとセンサが感知し、自動的に巻き取りを開始します。

巻き取り後の紙管の取り外し

巻き取り後の紙管は以下の手順で取り外してください。

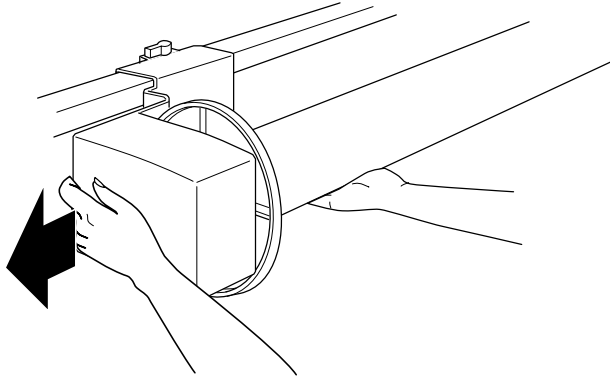
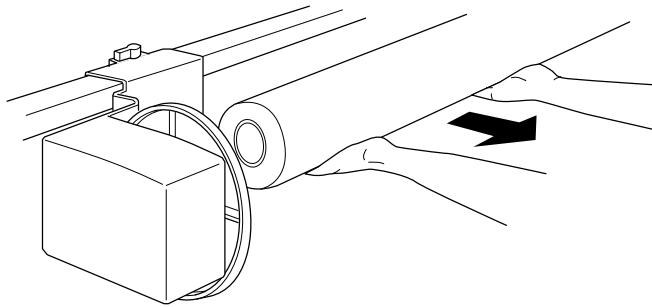
❶ ロール紙を切り離します。

> **内蔵カッターでカットできないロール紙は、ハサミやオプションのカッターユニットで切り離してください。**

①［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙自動カット］を選択します。
②［カット／排紙］スイッチを押すと、ロール紙がカットされます。

①［用紙選択］スイッチを押してロール紙自動カットランプを点灯させます

②［カット/排紙］スイッチを押すとロール紙がカットされます

❷ 可動ユニットのロックを解除し、可動ユニットを巻き取り紙管から取り外します。

巻き取り紙管を落とさないように片手で支えてください。

❸ 巻き取り後の巻き取り紙管を駆動ユニットから取り外します。

●困ったときは

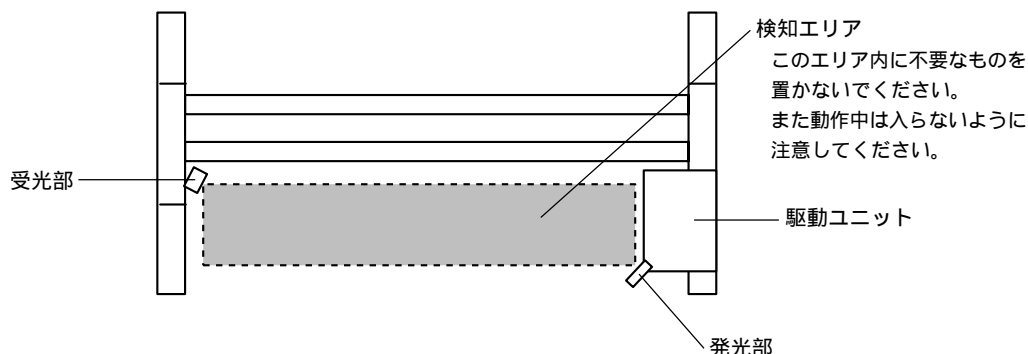
自動巻き取りユニットが正常に動作しない場合は、以下の点を確認してください。

●ロール紙のたるみが手前に十分ありますか。
手前に十分なたるみがないと正常に巻き取れないことがあります。

●スイッチの設定が間違っていませんか。
巻き取り方向とスイッチの設定が合っていることを確認してください。

●センサの検知エリアに不要なものはありませんか（印刷中）。
センサの検知状態が継続すると、自動的に巻き取り動作を中止し、その状態で3m程度印刷が継続され、印刷を停止します。プリンタの操作パネルに「ヨウシヲタダシクセットシテクダサイ」と表示されます。プリンタの用紙セットレバーを手前に引き、ロール紙が正しくセットされていること、それ以外の不要な物が検知エリアにないことを確認してください。ロール紙がたるんでいる場合は、用紙のたるみを直してから用紙セットレバーを後ろに倒します。

●センサランプが点滅していませんか。
印刷していないときに、センサランプが遅めの点滅をしている場合は、センサユニットの発光部と受光部の間に障害物があるか、発光部と受光部の位置が合っていない可能性があります。
発光部と受光部の間（検知エリア）に、障害物がないことを確認してください。

センサの検知エリアは下図の通りです。

障害物がないのに遅めの点滅を繰り返している場合は、発光部と受光部の位置が合っていない可能性があります。センサユニットの位置調整を行ってください。
☞「センサユニットの位置調整」21 ページ
速めの点滅をしている場合は、他の力が加えられたために巻き取り動作ができずに停止しています。原因となっている障害を取り除いてください。

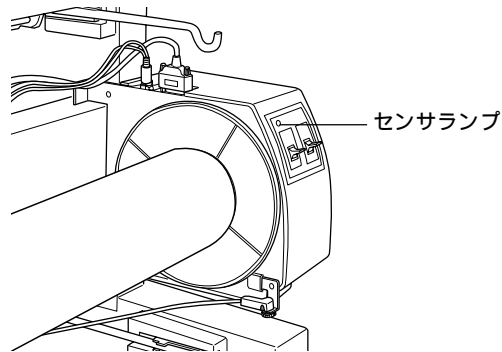
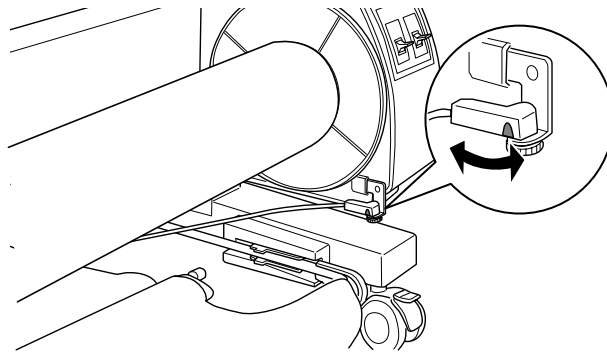
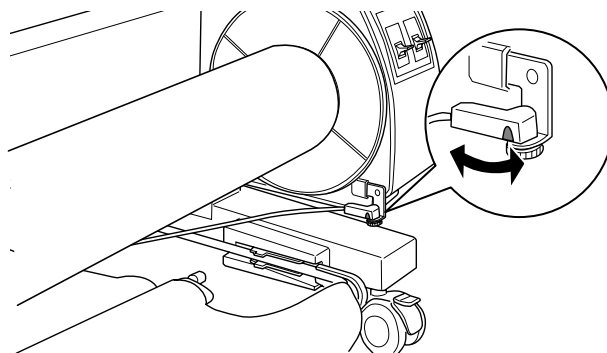
●センサランプが消灯していませんか。
センサユニットなどが正しく接続されているか確認してください。

●巻き取り紙管にロール紙を巻き取りすぎていませんんか。
巻き取り後の最大径は 180mm です。

センサユニットの位置調整

出荷時に、センサユニットの受光部と発光部は最適な位置に調整されています。誤って取り付け時などにずらしてしまった場合などには、次の手順で調整してください。

❶ 印刷している場合は、印刷を中止します。

❷ **センサランプの状態を確認します。点灯する場合は発光側と受光側と位置が合っているため調整は不要です。**

❸ **受光側センサのノブを緩めます。**

❹ **センサランプが点灯する位置に角度を調整します。**

❺ **センサランプが点灯した位置で受光側センサのノブを締めます。**

これでセンサユニットの位置調整は終了です。

使用可能な用紙幅	最大1118mm　最小210mm
用紙長さ	2インチ芯の場合は外径10cm以内/3インチ芯の場合は外径15cm以内の最大長
巻き取り後のロール紙の最大径	180mm（ただしプリンタ本体脚部の脚つなぎ(上)に触れないこと）
フランジ回転速度	63rpm
ユニット重量	総重量4kg
動作環境	温度：15～35℃ 湿度：30～80%

PMARFU1

取扱説明書

EPSON

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約申込先

修理に関するお問い合わせ、出張修理、保守契約のお申し込みは、下記フィールドセンター(FC)・サービスセンター(SC)まで、ご連絡下さい。

拠点名	電話番号	住　所	管轄地域
札幌FC	(011)222-7590	〒060-0034 札幌市中央区北四条東1丁目 札幌フコク生命ビル10階	北海道全域
仙台FC	(022)214-7625	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア19階	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
松本FC	(0263)54-7302	〒399-0785 塩尻市広丘原新田80 セイコーエプソン㈱ 広丘事業所内エプソンシステムプラザ3階	長野・山梨
東京FC (出張修理・保守契約)	(042)354-0750	〒183-0055 東京都府中市府中町1-14-1 朝日生命府中ビル8階	東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城・新潟
東京SC	(0424)80-4811	〒182-0024 東京都調布市布田1-29-2 ビルディング川口4階	東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・群馬・茨城・新潟
名古屋FC	(052)202-9510	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目16-15 名古屋フコク生命ビル4階	愛知・岐阜・三重
静岡FC	(054)251-1360	〒420-0851 静岡市黒金町11-7 三井生命静岡駅前ビル8階	静岡
金沢FC	(076)224-7084	〒920-0031 金沢市広岡1-1-35 金沢第二ビル8階	石川・富山・福井
大阪FC	(06)6397-0930	〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル6階	大阪・奈良・和歌山
神戸FC	(078)332-9905	〒650-0034 神戸市中央区京町69 三宮第一生命ビル2階	兵庫
京都FC	(075)255-6891	〒604-8187 京都市中京区御池東洞院西入る笹屋町435 京都御池第一生命ビル4階	京都・滋賀
広島FC	(082)222-3482	〒730-0013 広島市中区八丁堀14-4 広島八丁堀第一生命ビル11階	山口・広島
岡山FC	(086)223-3331	〒700-0904 岡山市柳町1-12-1 三井海上岡山ビル2階	鳥取・島根・岡山・広島(福山市)
四国FC	(087)851-6728	〒760-0023 高松市寿町2-3-11 高松丸田ビル6階	香川・愛媛・高知・徳島
福岡FC	(092)622-8626	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3階	福岡・佐賀・長崎・大分
北九州FC	(093)541-3155	〒802-0003 北九州市小倉北区米町1-1-21 大銀明生小倉ビル8階	福岡北部
熊本FC	(096)326-4519	〒860-0806 熊本市花畑町12-24 フコク生命熊本ビル3階	熊本
鹿児島FC	(099)254-5913	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1 西鹿児島第一生命ビル3階	鹿児島・宮崎
沖縄FC	(098)858-3301	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル4階	沖縄

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所　在　地	ドア to ドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10Fエプソンサービス㈱	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用受付電話 365日受付可	0263-86-7660
日野修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同 右	098-852-1420

＊「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。　【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
＊修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認下さい。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

・カラリオ製品専用窓口
0570—00—4116(ナビダイヤル)※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)
・カラリオ製品以外のお問い合わせ窓口
札幌(011)222—7931　仙台(022)214—7624　東京(042)585—8555　名古屋(052)202—9531　大阪(06)6399—1115
広島(082)240—0430　福岡(092)452—3942　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)
※ナビダイヤルとは、全国どこからでも同一の電話番号でかけることができるNTTの電話サービスの名称です。
※カラリオ製品専用窓口は携帯電話・PHSからはご利用頂けません。携帯電話・PHSのお客様は、最寄の「カラリオ製品以外のお問い合わせ窓口」へお電話ください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

(042)585-8444【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
カラリオ製品につきましては、「エプソンインフォメーションセンターカラリオ製品専用窓口」にお電話ください。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221—7911　東京(042)585—8500　名古屋(052)202—9532　大阪(06)6397—4359　福岡(092)452—3305

●エプソンデジタルカレッジ(スクール)に関するお問い合わせ・お申し込み

東京　TEL(03)5295-4169　FAX(03)5295-4168【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)
大阪　TEL(06)6634-8570　FAX(06)6634-2570【受付時間】水曜日を除く毎日10:00～12:00/13:00～17:30(弊社指定休日を除く)
※スケジュールはホームページ、FAXインフォメーションでもご確認できます。

●ショールーム ※詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア秋葉原　〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-7
【開館時間】毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア大阪日本橋　〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-4-20 エスタビル
【開館時間】毎日 10:00～18:00(弊社指定休日を除く)

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120—251528　でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2000. 7. 15

Printed In Japan 98. XX-XX